

ファイボンの一般用語

アーチ・エンドキャップ—アーチ形モールディングとまっすぐな部材との継ぎ目にアクセントをつける製品。

アーチ・モールディング—半円形の窓、ハーフラウンド・サンバースト、ハーフラウンド・スポーク・ペディメントを囲む製品で、フラットは平坦、デコラティブは装飾の入ったアーチ・モールディングです。マッチするまっすぐな線形モールディングもあります。

アーチ・ピラスター (ピラスター参照)—アーチにつながるドアや窓の縦枠として使用される製品で、アーチの断面にマッチするものを用意しています。

アップリケー—装飾性の高い製品で、壁や天井に取付けられます。石膏彫刻のような外観。

アール・デコ—1920—30年代の装飾スタイルで、幾何学デザインと鮮やかな色が特長でした。

アンダーシル・トリム—サイディングメーカーの付属部品で、トリムに取付ける部材。Jチャンネル (J形溝) の細いもので、サイディングを切って、下枠下の溝にはめ込みます。

鑄型の成形—原形から多数のモールディングを製造するための生産工程。

UV安定性—紫外線に対して安定性を持つ特質です。太陽光線で製品の品質が劣化しません。

E ベント—軒裏換気口。下端の換気方法で使われ、モールディングの装飾性と屋根裏換気の機能を両方持ち合わせた製品です。取付けは一体としてできます。

E ベント・コーナー (入隅、出隅) 正確な 45° の留継ぎで製造された製品で、まっすぐな E ベント・モールディングとマッチします。

E ベント・フィラーブロック—E ベントモールディングを支える充填ブロック材。

E ベント・接合ブロック / エンドキャップ—まっすぐなモールディングとの接合部に使われる分離ブロック、トリムより 6mm 突出する。また、モールディングの端に使われる。

ウィンドウ・クロスヘッド—ドアや窓の上部に張られた水平の横木に似た装飾材。

ウィンドウ・パネル—窓の真下に取付けられる装飾浮彫パネル。ウェインズコーティングを作るためにいくつか繋げて使われる例もあります。また、ジェットバス前面の周りに取付け、耐水性装飾付きパネルドアとしての役割も果たします。

ウィンドウ・ペディメント— (ペディメント参照)

ウェインズコーティング—内壁下部の表面が、上部とコントラストを持つ壁。上下に異なる表面材質を持った内壁。

ウレタンフォーム— (ポリウレタンフォーム参照)

エイコーン—楕円の実形の装飾ミルワークで、エイコーン・ペディメントの先端装飾部材です。半円筒と全円筒形があります。

エイコーン・ペディメント (ペディメント参照)—三角形の上部に装飾要素が組み込まれる製品で、玄関上部に通常取付けられる玄関クロスヘッドの上に付けられます。

エッグ・アンド・ダート—モールディングのデザインで、卵と矢の形を交互に繰返したもの。卵は生、矢は死を表すと言われています。

エリプティカル—長円の形状。(楕円形)

オーナメント (装飾要素)—装飾性の高い壁や天井のモチーフでありあまり使われないものの便利な総称。ガーランド、リーフ、スクロール、シェル、シールド、サンバースト、リース装飾等。ボール (丸型) 装飾には、アーン、エイコーン、パインアップル等があります。

カウンターシンク (さら穴)—ミルワークの表面下の浅いさら穴に留め具を収める部分。

キーストーン—伝統的にはアーチの先端に取付ける製品。玄関周りや窓クロスヘッドの一部として最も使われます。平坦、凹型、アールデコと 3 種のスタイルがあります。

機能用ルーバー—屋根裏換気を促すためにスラツで通気口を設け通気を可能としたルーバー。ファイボンの機能用ルーバーは耐腐食性の網戸が裏に付いており、最大の通気を可能にしながら、虫除けも行います。通気性のないルーバーも製造しています。(装飾ルーバー参照)

キャップ—玄関、腰板、隔壁、柱などの上部部材、(キャップトリム、ウィエンスコート・キャップ、ダドーモールディング、チェアレル・キャップ等)、また、ピラスター (柱) 溝付き部分上の先端部。

クォイン—建物外部の出隅を形成する石材 (ストーンブロック) のような装飾要素。

グレージングとフィラーパティ—小さな不完全な部分を充填して修理するための自動車用充填材。

ゲブル・ペディメント—切妻と屋根の継ぎ目を覆う装飾ミルワーク。又は、単なる切妻装飾製品。初期から中期のビクトリアン様式の住宅で、コーニス・モールディングの代替えとなります。

原型—複製を製造する元の型。

ゴシック・アーチ—12—15 世紀に西ヨーロッパでさかんに見られた建築様式から取られた玄関や窓の上のアーチで先端が尖っている製品。

コーブ・モールディング—部材が直角に交差する部分に使われる凹形のモールディング。入隅に丸みをつけます。ブルノーズとは反対の形態。(スコア、カベット、天井コーニス等)

クラウン・モールディング—コーニス部分や内装で角を覆うモールディング。2面が交差して角を形成する部分に使われるモールディング。広角を覆う場合にも利用されます。(コーニス・モールディング等)

クロスヘッド—ドアや窓の上部に付けられる横木に似た装飾製品で、プレストボードと上部のクラウン・モールディングで一体成形されています。寸法は147mmから441mmの高さ。多種のアクセサリ付属品を付けて、装飾性を高めることもできます。(ドア・クロスヘッド、窓クロスヘッド)

コーキング—接合部分に埋めて耐水・機密を高める合成材。防水・機密コーキングはシリコン製。

コーベール—特に大きなブラケット。

コーナーストリップ・モールディング—調整可能な出隅を形成する部材で、最高45°まで可能。ベイ・ボウ・ウィンドウに最適です。

コーニス (コーニス・モールディング)—建物の壁に冠のように収められる大きなモールディングで、壁から水平に突出しています。コーニスの様式では、クラウン、ビード、コーブなどが使われます。

コラム—建物の構造、あるいは装飾のための柱。

コロニアル—アメリカ17-18世紀の英国植民地(コロニー)時代の建築や装飾様式。均等が取れ、形式的装飾性が高く、木工トリムの彫刻の厳かな陰影が特徴。

コンビネーション・ユニット—ベディメントやクロスヘッドを合わせて一体化製造したもので、取付けが短時間でできます。2つの部材を現場で組合わせた場合に比べて、突出が若干小さくなります。

サンバースト—半長円形の下部が太陽光線の扇のような形状をしたデザイン。

下塗り仕上げ (プライマー)—塗装の下地として塗られる塗料。2回以上の塗装を行う場合の最初の塗装。

四半円形ルーバー (ルーバー参照)—左側と右側があります。

Jチャンネル (J型溝)—トリム材を取付けるためのサイディング部材で、トリムに突付けで取付け、サイディングを切ってこの溝に差し込みます。

ジャム—ドアや窓の枠材で、ドアやガラスに当たる部材。上枠、縦枠。

ジャム・エクステンション (サブ・ジャム)—ドア・窓枠に似た部材で、通常4面に取付けられドア枠の幅を広くします。サブジャムはジャム・ライナーより幅広のものを指します。窓にも使えます。(延長枠)

ジャム・ライナー—細い木片で、4面に取付けられるか、端に実継ぎで付けられます。内側の窓枠に取付けると幅を大きくします。

ジャム・リビール (枠の表面)—ドアや窓からはみ出た枠の部分。ドアや窓枠と周りのトリムやケーシングとの間。

柔軟性Jチャンネル—J型溝と同様の機能を持ち、しかも柔軟性がある曲げることができます。

受注—お客様からFAXや電話で注文を受けた際、ファイポンは、FAXか電話で注文を受けたことを通知し、注文内容を確認します。

シューモールディング—ベースボードの底部が床に接触する部分に取付けられる四半円形のトリム。

シルモールディング—壁に水分が入り込まないようにしたり、壁から水分を流すためのモールディング。

ジンジャーブレッド—建築様式で特に高度な装飾性のもの。

スクアロップ—半円のような湾曲形状シリーズのひとつで、境界線を形成します。

スコーン—ろうそくや照明具のため装飾用壁ブラケット。

スタンダード (標準)—ミルワーカーカタログに載せられた全製品。

スパンドレル—コラムと柱との隙間を埋めるスピンドルシステムの装飾タイプ。

接着剤—部材の表面に施して接着する材料で、「グルー (糊)」を含めたいろいろな種類があります。(PLプレミアム接着剤参照)

ソフィット (下端)—通常、軒のコーニス部分の下側を指します。

装飾ルーバー—建物の装飾アクセントとして使われる通気機能を持たないルーバー。ファイボンでは、通気機能のあるルーバーも製造。(機能用ルーバー参照。)

耐久性—長期間性能を果たし傷みにくいこと。

チェアレール—家具がこすれて壁が傷まないように保護する部材で、壁の腰の高さぐらいに取付けられるモールディング枠。パネルや腰板と共に使われる場合は、このモールディングが上部先端の装飾となります。

底辺トリム/ボトムトリム(BT)—窓やドアクロスヘッドの下に取付けられる薄いモールディング付属品で、クロスヘッドに高さや詳細デザインを加えます。

出隅モールディング・ブロック（モールディング・ブロック参照）

手摺一欄干の2本の柱に支えられた横木で、柵として使われます。

手摺子（スピンドル）—手摺を支える部材で、手摺と床または段板との間に取付けられる縦枠材。

天井メダリオン—天井にアクセントを与える石膏造形のような円形製品。天井扇風機や照明具のトリムカラーとしても利用されます。天井や壁の内装デザインとして、いくつも繋げて使われることもあります。

デンティル・ブロック—小さな長方形のブロックで、狭い間隔で繰返して使ったり、モールディングと合わせて利用。

デンティル・モールディング（歯形トリム）—小さな四角のブロックと隙間が歯のように並んだ形状で、コーニス、玄関、クロスヘッドに利用。

ドア・クロスヘッド—ドアや窓の上に渡される水平の横木に似た装飾製品。玄関ドア開口部の上部。（エントランス・キャップ、エンタブラチュアー等。）通常上部がペディメント以外の場合に使われます。（クロスヘッド参照）

ドア・窓ケーシング—ドアや窓を囲むためのモールディング等を特にケーシング材と呼び、ほとんどのミルワーク販売店の製品に含まれています。簡単な丸縁ボードや複雑なデザインのものまであります。ケーシングは、モールディングの他にコーナブロック、キーストーン、ベースブロックなども含みます。（アーチ、ドアヘッド、ピラスター、ドア・窓モールディング参照）

特別制作製品—カタログに含まれている製品を切断、接合、組立てて特別注文の寸法やデザインで制作された製品。

特別デザイン製品—独特なパターンを作り出すための設計期間が必要となり、個々のプロジェクトごとに見積提出いたします。

突出—ミルワークが下地の表面から飛び出した寸法。

トリム—建物の仕上げ材で、開口部周りに取付けられるモールディング（窓トリム、玄関トリム）、床、天井、部屋（ベースボード、コーニス、その他のモールディング）に使われます。

トリム細辺／トリムストリップ (T)—クロスヘッドに細部デザインを加える装飾付属品。

内部モールディング・ブロック（モールディング・ブロック参照）

ニッチ—伝統的には造形や装飾品を飾るために設けられた壁の入り込んだ部分。

軒—屋根の末端部で壁から飛出ている部分。

バリアコート—ウレタン製品の保護膜を成す第一塗装で、型から部材を外しやすくする役割もあります。

ピーク（ペディメント）—一体成形の三角形のペディメントヘッド。

ビクトリアン—1860年—1893年に盛んに使われた米国の建築様式。

ピッチ（傾斜）—屋根の傾斜、あるいは建物の幅に対する屋根上がりの率。屋根の傾斜は、1フィート（12インチ）当たり何インチ上がるかという表記法をします。（テクニカル・カタログ P.11 の図参照）

ピッチブロック—厚く大きなフィラーブロックで、屋根の傾斜に合わせて現場で調整できます。

ビード・アンド・コーブ—「ビード」と「コーブ」のコンビ。

ビード—半円か円形の断面を持つ部材。ガラスやパネルをドアに固定するための小さなモールディングも指すものでガラスビードと呼ばれる部材もあります。

ピラスター—壁から若干飛び出した柱で、ほとんどの場合、装飾です。長方形や半円形、時にベース（プリンス・ブロック）、シャフト（中央部）、キャピタルが付いています。玄関やドア開口部のコラムに似せたものです。

PL プレミアム接着剤—ウレタン製建築用接着剤で、ポリウレタン製ミルワーク材の接着に優れています。

フィッシュスケール—ビクトリアン後期やコロニアル様式の住宅に使われたファサードや切妻の装飾で、屋根材のシングルのように鱗を重ねたスタイル。

フィニアル—切妻の先端が尖塔、あるいは建物の先端に使われる装飾製品。

フェイス・モールディング—鼻隠し（屋根の端に水平に取付けられる板）に取付けられるモールディング。平板、帯材、鼻隠しはそのまま使われることがありますが、通常モールディングと共に取付けられ、コーニスの外面にも利用されます。

不浸透性ステイン—ステインの種類で、表面の開孔部に浸透せずに表面上に定着するよう製造されたもの。

プラスチック木工充填剤（ポンドー、及びグレージングとフィラーパティ参照）

ブラケット—外装用ではポーチ、コーニス、切り妻の装飾に使われる。内装では、梁を支え壁との継ぎ目を隠し、玄関の装飾、柵の支持、物をつるための部材として利用されます。

フランカーズ—丸窓と両脇に取付けられた長方形のガラス窓の形態で使われる製品。丸窓はアーチ、脇の窓にはクロスヘッドが取付けられます。

フリーズボード—建物や部屋の上部にそって取付けられる装飾要素で、彫刻の施してあるものがよくあります。住宅では、サイディングの最上部とコーニスの下端が接合する部分の水平部材。

ブリックモールド—建物の外装材が当てられる外壁ドアや窓のモールディング枠で、煉瓦や外壁材の境界を形成します。

プリンスブロック—ピラスター底部の四角いブロック。隣接する部材より厚く幅広い。

プレストボード—窓クロスヘッドの底辺、平坦な部分。まぐさの寸法を選択する場合、部品番号がプレストボードの幅寸法を示します。

プレストボードの寸法—インチ寸法で測定され、ドア・窓クロスヘッドの部品番号がこの幅寸法を示します。

平坦トリム／フラットトリム—装飾が施されていないモールディング。S4S部材。

ベース—壁と床との交差部で部屋の周辺に取付けられるモールディング。通常、ベースシューと2つの部材でベースを形成します。(ベースボード、モップボード、スカーティング等)

ペディメント—形式ばった玄関の最上部(ペディメントはクロスヘッドの上に付けられる)部材でキャップやヘッドを含み、窓や内装ドアに装飾を加える製品。ブローケン・ペディメント—体ではなく周辺が分断されているもの。分断部分にエイコーンが付けられたもの(エイコーン・ペディメント)や渦巻き模様(ラムズヘッド・ペディメント)もあります。ラウンド・ペディメント—弓形のペディメント(サンバースト、エリプティカル、ハールラウンド等)。ソリッド・ペディメント—三角形の頂点が分断されていないもの(ピークキャップ・ペディメント)

ベント(換気・通気)—換気、通気のための開口部。

ポリウレタンフォーム—2種類の樹脂の混合物で、化学反応で発砲した素材。ポリウレタンフォーム(又はウレタン)は、ファイボン製アーキテクチュラル・アクセントの構成成分です。鋳型成形した後は、木工製品や石膏製品とほとんど見分けが付きません。特徴は耐腐食性で、割れ目、曲がり、塗料の剥離などが起こりにくく、虫も寄せ付けません。

ビード—半円か円形の断面を持つ部材。ガラスやパネルをドアに固定するための小さなモールディングも指すものでガラスビードと呼ばれる部材もあります。

ボール—柱の上につける円形の先端装飾部材。(アーン、エイコーン、パインアップル等)(フィニアル参照)

マル(中枠)—一つ以上の窓を縦枠のところで繋げる枠、あるいはドアとサイドライトを繋げる枠。ファイボン製造の溝付きの中枠は、縦枠との継ぎ目を隠します。

溝—ピラスターの柱の部分に施されたいくつかの丸い溝。

密度—物質の単位体積当たりの重量。元の密度は立方フィート当たりのポンド重量で測定。ファイボンでは225 kg/m³の密度の製品を製造。

ドア・窓モールディング—ドアや窓のケーシングに使われるトリム・モールディング。ドアや窓のクロスヘッドやロゼットと共によく使われます。

木目/ステイン可能—ウレタン製ミルワークに施された特別の表面で、オーク、レッドウッド、シーダーの表面材質が形どられています。不浸透性のステインやペンキ塗装が可能。

モールディング—表面を装飾する部材で、構造の装飾性を強調したり、表面や角の継ぎ目を隠す役目を果たします。

モールディング・ブロック(入隅、出隅)—鋳型成形の角部材で、難しい角の切断を省きます。まっすぐなモールディングが簡単に突付けで取付けられます。

モールディング分離ブロック—モールディングの継ぎ目に付けられるアクセント用ブロック。モールディングの端にも利用されます。

モールド・エッジ—直角か傾斜以外の形状を成形された部材の端。

RTV シリコン製型—実際のウレタン製品が製造される生産用の型。

ラムズヘッド(ペディメント)—渦巻き模様のブローケン・ペディメントで、開口部にアーンが付けられています。

欄干—安全の機能を果たす製品で、手摺、親柱、手摺子で形成されています。

リースとボウ—伝統的な建物の切妻に取付けられる大きな花輪形装飾アクセント。

ルーバー—建物側面の壁に取付けられ換気や装飾のために使われます。正方形、長方形、三角、四半円、半円などのスタイルがあります。(ルーバーのスタイルはカタログ参照)

ルーバートリム—一体成形のトリムで、さまざまな形態のルーバーを取り囲み、ルーバーがより大きな建物の構成部材のような外観を提供します。

ロゼット—窓やドア・ケーシングの角に通常使われる部材で、中央に円形装飾を備えた四角いブロック。